

平成30年度 『電子商取引』シラバス

校長		教頭	
----	--	----	--

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
電子商取引	2	2	全	選択	商業科

1 目標

情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得させ、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てる。

2 使用教科書・教材

実教出版 「電子商取引」(7実教・商業331)

3 授業の展開と形態

コンピュータ等を活用した授業展開

4 学習方法

- (1) 各単元当初においてガイダンス及び講義形式の授業を行い、各自の作品制作の実習を行う。
- (2) プリントを中心に基礎的な知識・技術を学習するので、十分活用すること。
- (3) 配布されたプリント・提出物などは活用できるようファイルを利用して整理しておくこと。
- (4) 完成作品を各種コンクール等に出品する機会に備えて、質の高い作品制作を心がけること。

5 成績評価

定期テスト、作品・課題、発表、授業態度等を総合的に評価する。
個性的な表現を生み出すための意欲・創造性等も評価する。

定期テスト 30%	作品・課題 50%	発表 10%	授業態度 10%
-----------	-----------	--------	----------

6 その他(履修上の注意)

作品提出については、単元内容の違いから印刷出力・画面出力等形式が異なるため、印刷物及びデータによる提出があるので注意する。

7 観点別評価の趣旨

	評価の観点・内容	評価の方法
関心・意欲・態度	○ 情報技術の進歩に伴うビジネスの形態や広告・広報の変化に気が付き、積極的な情報発信を行おうとする意欲を持って、効果的なWebコンテンツ制作活動に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしているか。	観察 実習課題 提出物
思考・判断	○ 広報に関する基本的な知識・理解をもとに、目的に応じた適切な媒体や表現方法を選択し、情報の受け手の立場に立った分かりやすい情報発信を行うことができるか。 ○ 情報モラルやマナーを守った情報発信ができるか。	観察 実習課題 定期テスト
技能・表現	○ 図形や静止画、動画、音声などのマルチメディアを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、Webページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用して目的を持った広報の作品を作成できるか。 ○ 相手に分かりやすく伝えるための資料の作成や話し方等の表現技法を身につけ、効果的なプレゼンテーションができるか。	観察 実習課題 提出物 定期テスト
知識・理解	○ Webデザインに必要な知識を理解し、マルチメディアを活用したWebページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案・制作の手法を身につけているか。	観察 実習課題 定期テスト

8 電子商取引学習計画

月	学習内容	時間	学習のねらい	評価方法等
4	オリエンテーション 情報通信技術の進歩とビジネス ビジネスの変化 情報通信ネットワークの活用と課題 個人情報保護とさまざまな権利・肖像権	4	○ビジネスの諸活動において情報通信ネットワークを活用することの意義、情報通信技術の進歩による広告・広報活動の変化を理解する。 ○インターネットサービスプロバイダの役割と業務について理解する。 ○情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報を行う際の個人情報や知的財産権の保護の重要性について理解する。	観察 実習課題 提出物
5	情報コンテンツの制作 ファイルの形式 図形と画像(静止画)	8	○ファイル形式(静止画、動画、音声)の種類や特徴を理解する。 ファイルの圧縮・変換方法を理解する。 ○入力装置やソフトウェアを活用して、図形、静止画、を習得、作成、編集するための技法を習得する。 静止画像ソフト Photoshopを活用した実習	観察 実習課題 提出物
6	情報コンテンツの制作 図形と画像(動画) 音声	6	○入力装置やソフトウェアを活用して、図形、静止画、動画、音声を習得、作成、編集するための技法を習得する。 動画処理ソフト Premierを活用した実習 音声処理ソフト Auditionを活用した実習	観察 実習課題 提出物
7	Webコンテンツの制作 情報の統合	6	○ソフトウェアを活用してさまざまな情報を統合するための技法および統合した情報を情報通信ネットワークを活用した商取引などに活用するための技法を習得する。 Webコンテンツ作成ソフト Flashを活用した実習 作品制作	定期テスト
9	ウェブデザインと広告・広報 ウェブページの作成手順 デザインの基礎	8	○ウェブページの制作に対する要求を分析し、それを基に企画・立案して制作する手順や方法について理解する。 ○ウェブページの制作に必要な配色、構成、フォントの選択など、デザインに関する基礎的な知識と技法を習得する。	観察 実習課題 提出物
10	ウェブデザインと広告・広報 ウェブページの制作の基礎 ウェブページ制作の応用	8	○ウェブページを制作する為の技法を習得する。 ホームページビルダーを活用した実習 バナー広告の制作 作品制作	観察 実習課題 提出物
11	ウェブページの公開 ネットワーク機器の種類と機能 ハードウェアとソフトウェアの導入	6	○ネットワーク機器の種類と機能について理解する。 ○ウェブサーバやメールサーバなどの各種サーバの機能について理解する。	観察 実習課題 提出物
12	ウェブページの公開 ハードウェアとソフトウェアの導入	6	○通信ネットワークを構築するための技法および商品取引や広告・広報を行うウェブページを公開するための技法を習得する。	定期テスト
1	電子商取引とビジネス 電子商取引の仕組み 企業間取引と企業・消費者間取引 電子決済の仕組みと方法	8	○情報通信ネットワークを活用して商品売買や金融取引を行う仕組み、電子商取引を始めるための手順および電子商取引に関する法規について理解する。 ○企業間取引(B to B)と企業・消費者間(B to C, C to C)について理解する ○電子決済の仕組みおよび電子商取引における電子決済の意義について理解する。	観察 実習課題 提出物 定期テスト
2	電子商取引とビジネス 電子商取引のシステム制作	6	○これまでに学んだ知識、技法を活用した電子商取引用のWebページを制作する。	提出物
3	報告会	4	○プレゼンテーション活動の目的や方法について、口頭による表現と文書による表現の2つの面について理解させる。 ○マルチメディアを活用したプレゼンテーションの特徴と有効性について、プレゼンテーションソフトを使った実習を通して理解させ、プレゼンテーションの技法を習得させる。	